



## 平成20年第3回定例会 平成19年度各会計の決算を認定 一般会計決算歳出総額796億円



▶平成19年度に新校舎が完成した府中第三中学校



平成20年第3回定例会は、9月1日から29日までの29日間の会期で開催されました。市長提出議案は、平成19年度府中市一般会計歳入歳出決算の認定についてなど26件を審議した結果、可決10件、認定9件、同意7件となりました。議員提出議案は、障害者自立支援法の抜本的見直しを求める意見書など2件を審議し、すべて可決されました。また、請願1件、陳情12件が審議されました。

平成19年度の決算は、一般会計歳入歳出予算額81億8315万5000円に対し、歳入決算額は、81億9544万5326円で、執行率は99・5%、歳出決算額は、796億1914万4618円で、執行率は97・6%です。

その結果、歳入歳出差引額は、15億7630万708円となりますが、このうち1億円については、法の規定により財政調整基金に編入をしています。

この議案の提案に当たり、市長から、「第5次府中市総合計画後期基本計画やケヤキ並木保存活用計画等の策定、市民会館・中央図書館複合施設の開設、障害者就業支援事業や放課後子ども教室事業の実施、小中学校の耐震化のほか、都市基盤の充実や環境、観光、教育文化、スポーツ振興など、それぞれの分野で各種事業を積極的に展開し、様々な行政課題や市民ニーズに的確に対応するとともに、質の高い行政サービスの提供に努めた。そのため、事務事業の見直し等によって歳出経費を削減する一方、国・都補助金や起債により財源を確保するとともに、基金の有効活用などを図ってきた」との説明がありました。そして、9月18日から25

日までの5日間にわたり開催された決算特別委員会では、慎重な審査が行われました。9月29日の本会議で、賛成・反対討論が行われ、採決の結果、賛成多数で平成19年度一般会計歳入歳出決算は認定されました。(関連記事2・3ページ)

### 意見書

◎障害者自立支援法の抜本的見直しを求める意見書  
障害者自立支援法の本格施行から2年が経過したが、その結果として、定率負担制度による利用料負担増、報酬水準の低さによるサービス提供の不安定化、更には地方自治体の超過負担など、多くの問題が生じていることとなった。

このような中、政府は消費者庁の設置などを検討しているが、真に消費者利益が守られるためには、地方消費者行政の充実強化が不可欠である。よって、本市議会は国会及び政府に対し、地方消費者行政を拡充し、真に機能する体制を実現するため、消費生活センターの設置や機能等を法的に位置づけるとともに、被害情報の集約体制を強化し、国と地方のネットワークを構築すること等に必要な法制度を整備することなど2項目を要望する。

### 定例会日誌

(次の日程で開催しました)  
9月1日 本会議(委員会付託等)  
2日 〃(一般質問)  
3日 〃(〃)  
4日 総務委員会  
5日 文教委員会  
8日 厚生経済委員会  
9日 建設環境委員会  
10日 基地跡地対策特別委員会  
11日 再開発対策特別委員会  
12日 鉄道対策特別委員会  
17日 本会議(常任委員会審査報告等)  
18日 予算・決算特別委員会  
19・22・24・25日 決算特別委員会  
29日 本会議(特別委員会審査報告等)

### 人事議案

定例会最終日の本会議に市長から教育委員会委員の任命の同意を求める議案、人権擁護委員候補者の推薦

久芳 美恵子氏(60歳)  
北島 章雄氏(54歳)  
新海 功氏(67歳)  
室 惇子氏(61歳)  
宮崎 清美氏(58歳)  
府中市オンブズパーソン  
中根 勝士氏(64歳)  
鈴木 眞理子氏(59歳)  
人権擁護委員候補者